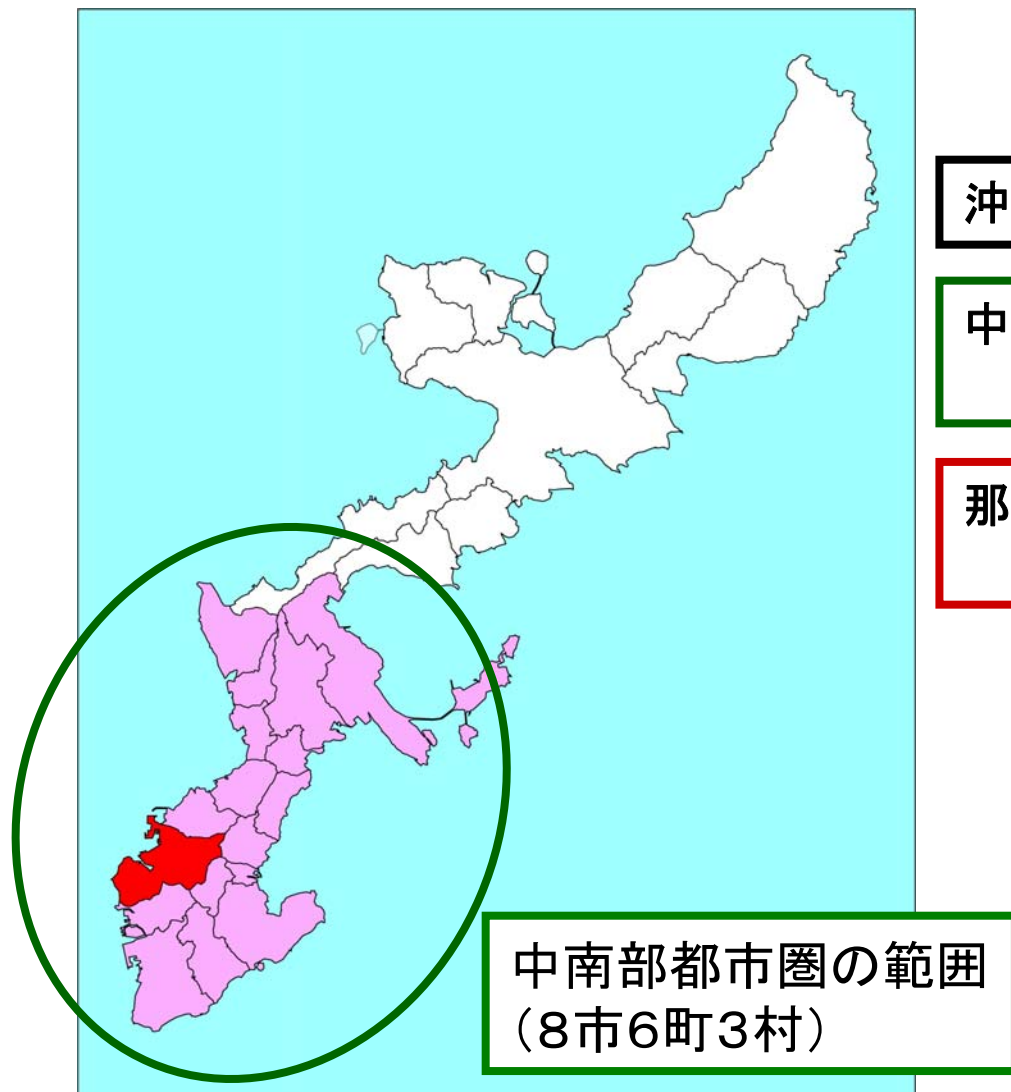


那覇市における誰もが 移動しやすいまちづくりに向けた 取り組みについて

平成20年9月22日

那覇市
都市計画部 都市計画課

1. 那覇市の交通事情 (沖縄本島中南部都市圏の交通から)



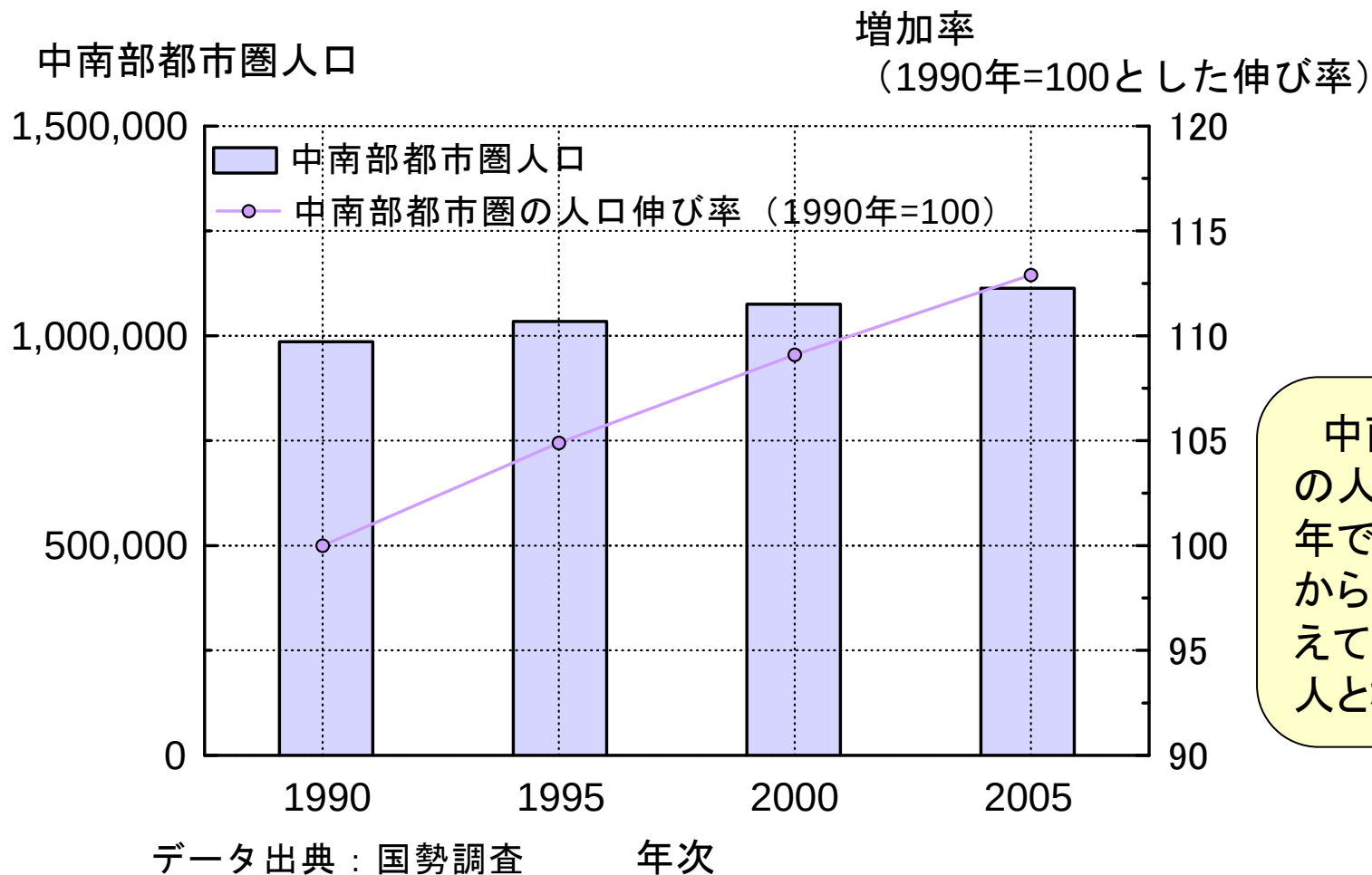
沖縄県 人口136万人(本島人口123万人)

中南部都市圏 人口111万人
面積477km²

那覇市 人口32万人
面積39km²

資料: 第3回沖縄本島中南部
都市圏パーソントリップ調査

● 少子高齢化が進む中、都市圏の総人口は依然として増加傾向にある。



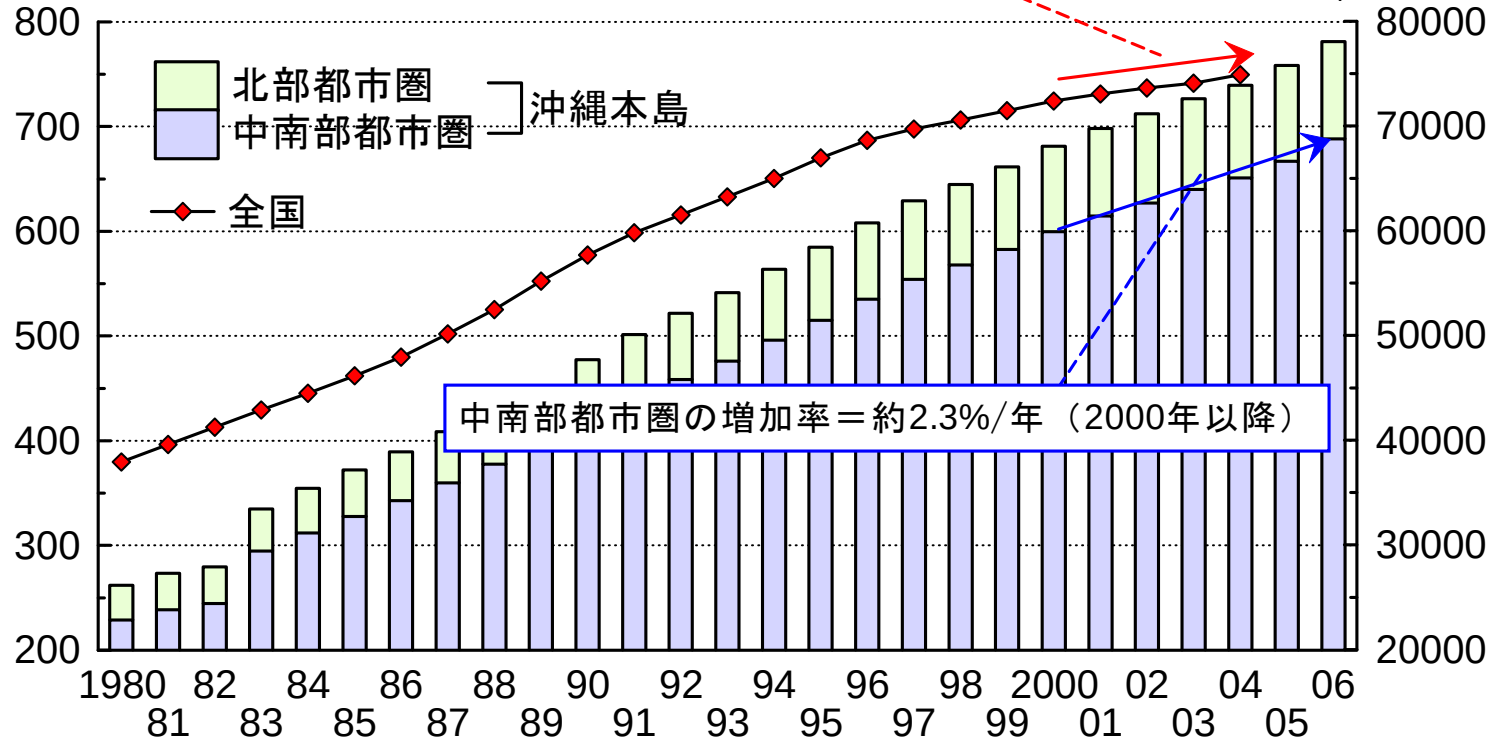
中南部都市圏の人口は、2005年には、1990年から約13万人増えて、約111万人となっています。

自動車保有台数は大幅に増加している。
1990年42万台→2005年67万台
約25万台の増加(1.6倍)

自動車保有台数
(単位：1,000台)

全国の増加率＝約0.8%/年（2000年以降）

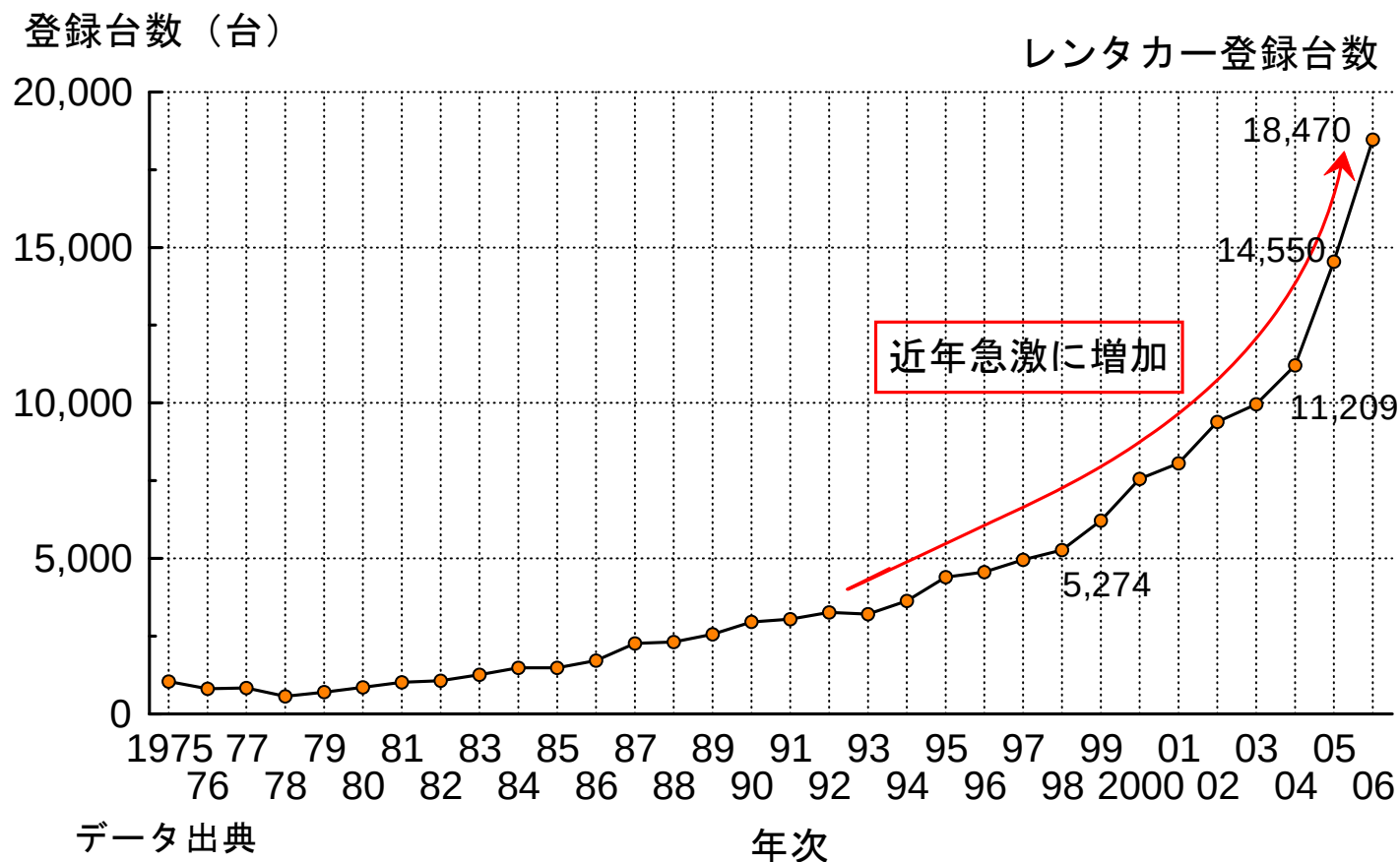
全国の自動車保有台数
(単位：1,000台)



沖縄県の自動車保有台数：交通白書に基づく
全国の自動車保有台数：道路統計年報に基づく

年次

レンタカー台数も1990年→2005年で約4倍に増加
登録台数は18,000台を突破
観光入込客数は550万人、この10年で1.7倍に増加している

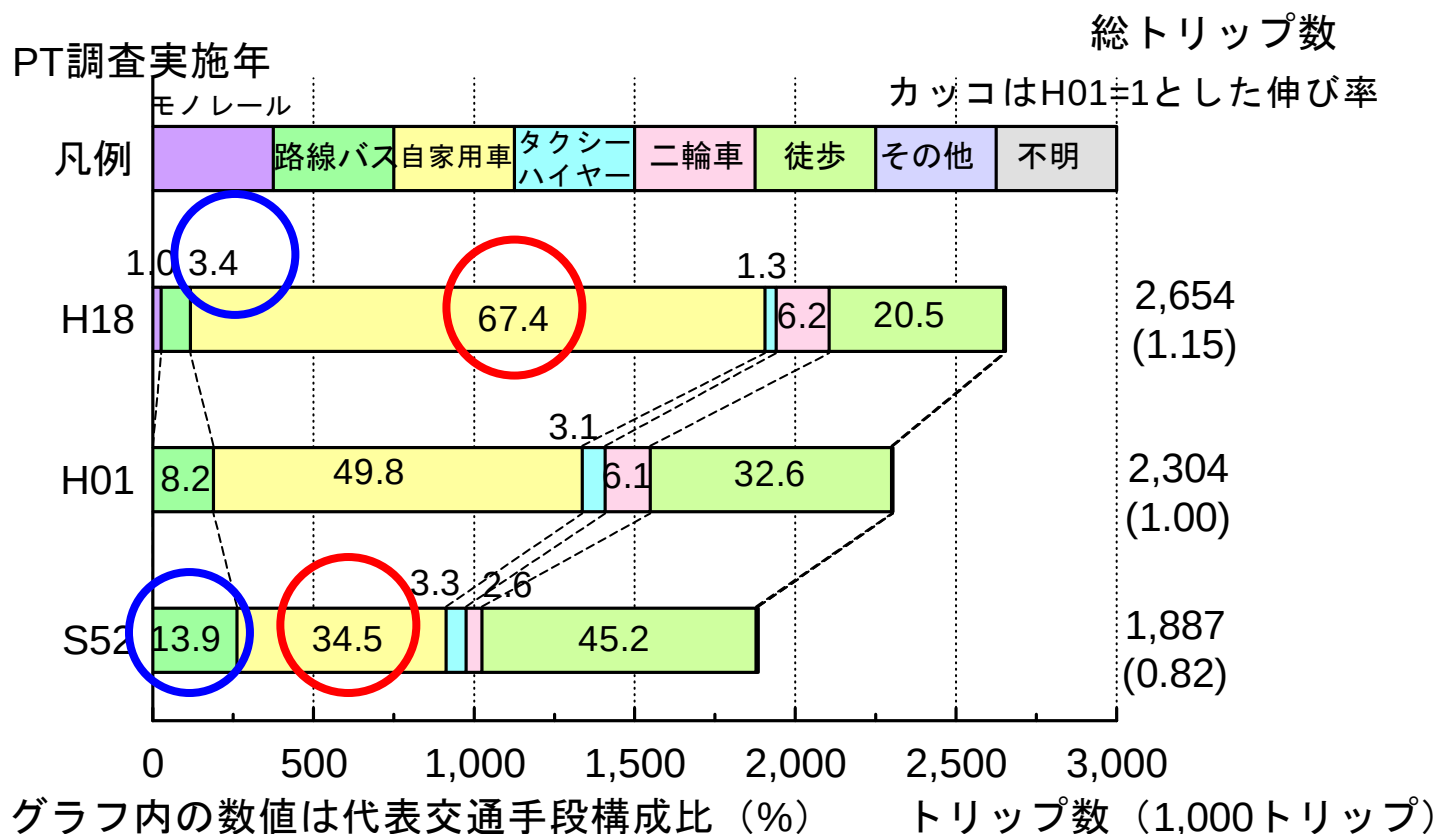


主な交通手段の変化

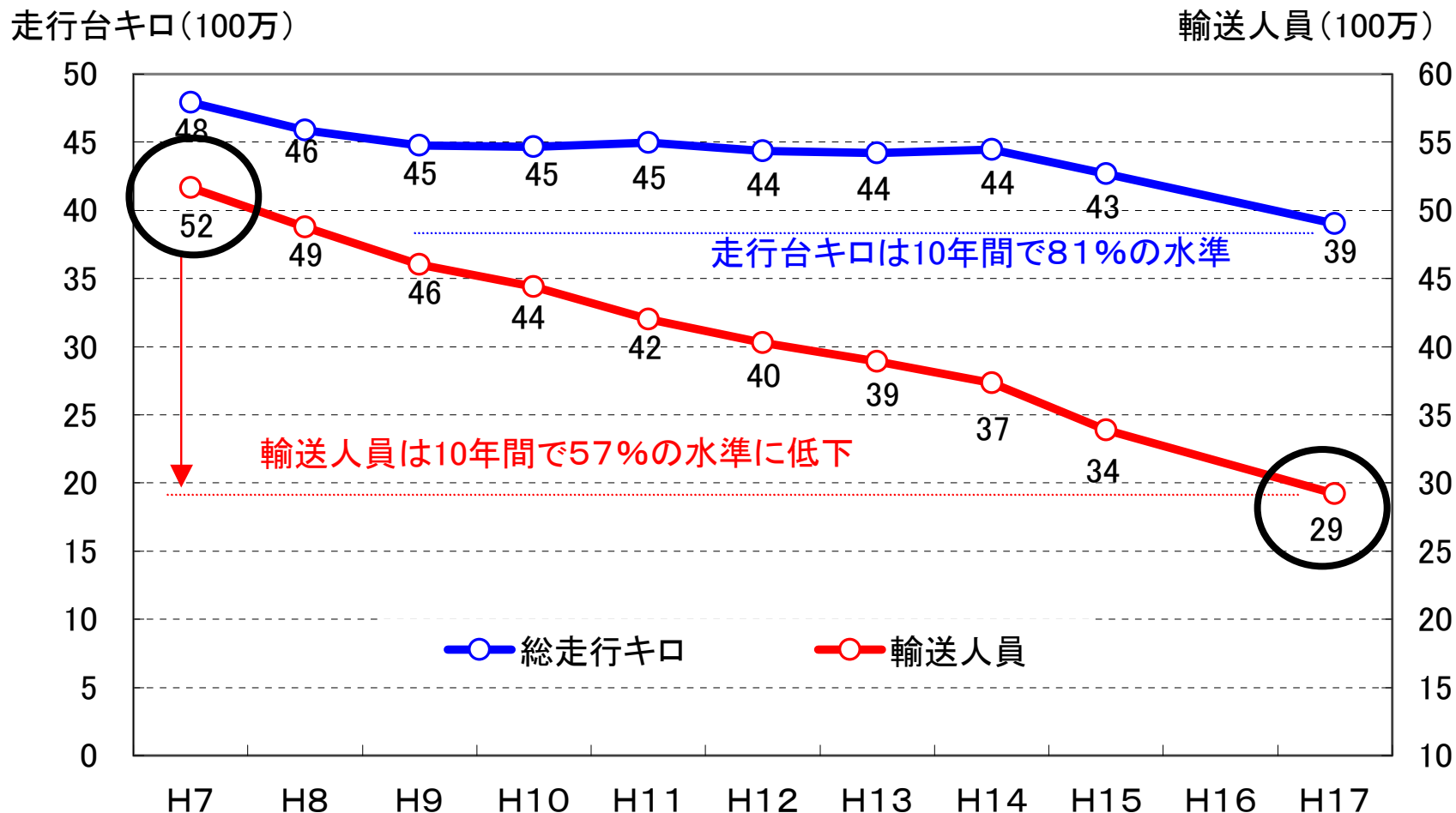
・自家用車の利用率は1977年34%→2006年67%に**増加**

・路線バスの利用率は1977年14%→2006年3.4%に**減少**

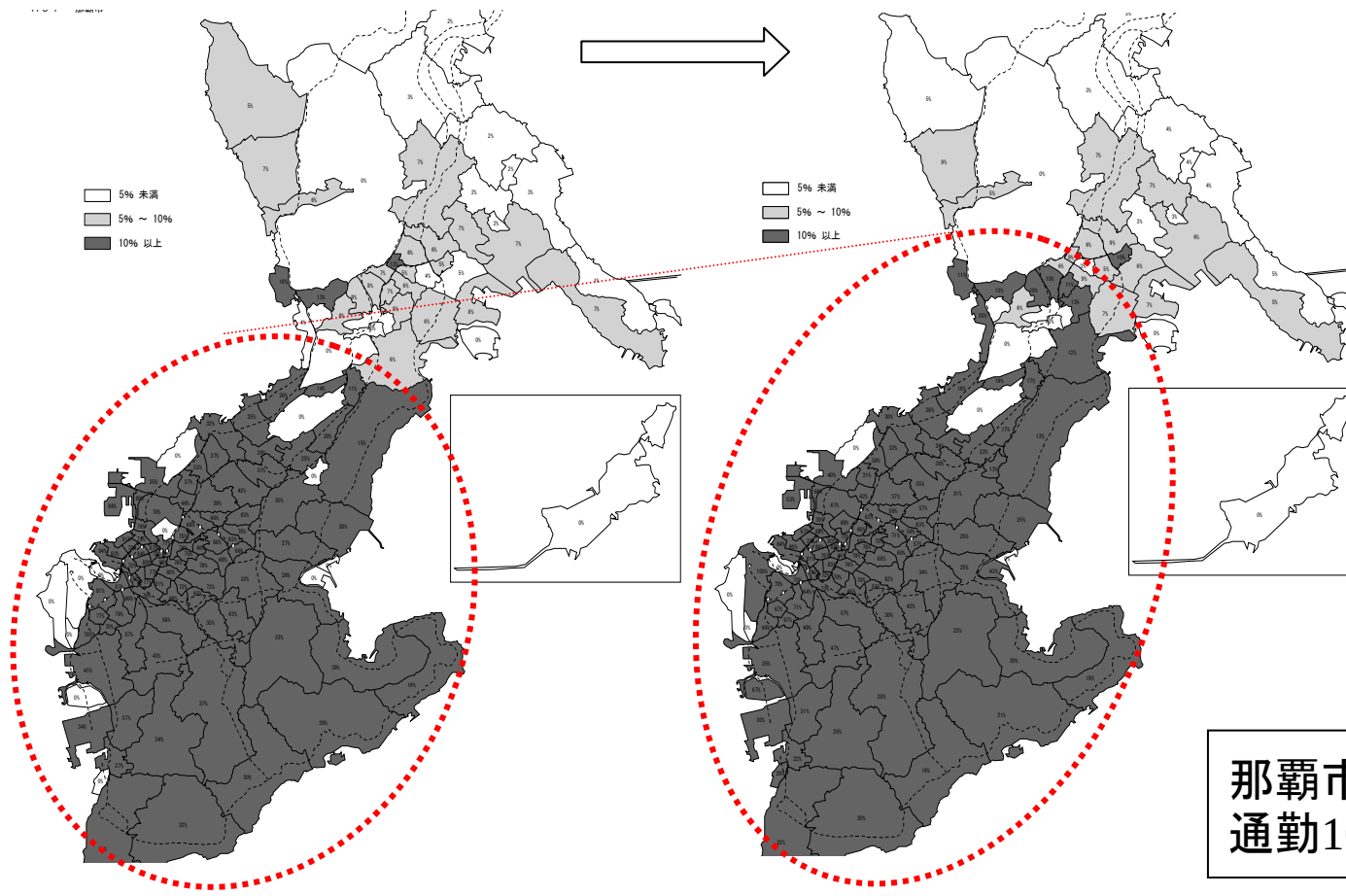
人が移動するときに利用する主な交通手段の変化



・バス輸送人員は1995年5,200万人→2005年2,900万人に半減



那覇市の通勤圏はH元からH18年にかけて沖縄市方面まで拡大している。

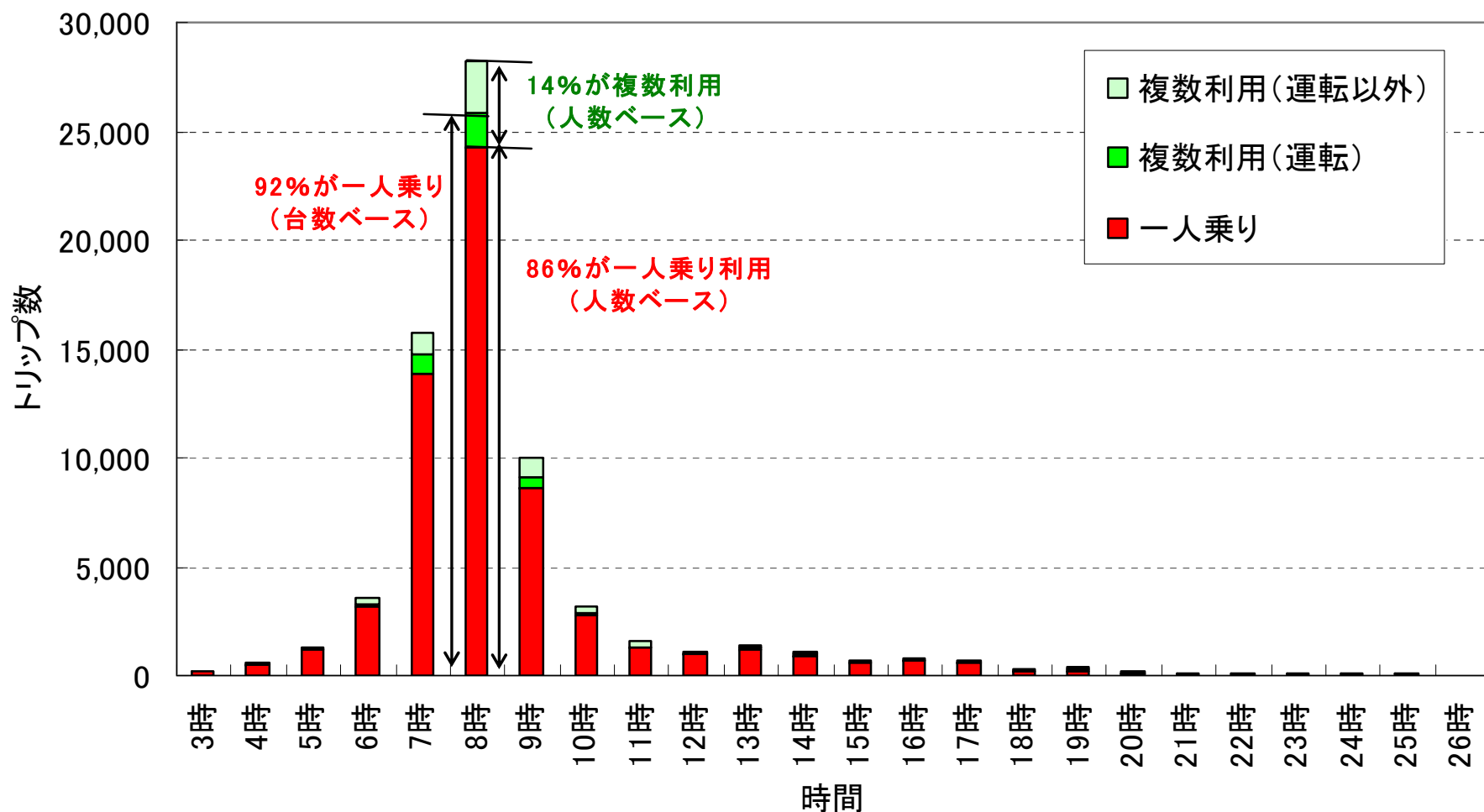


H元年

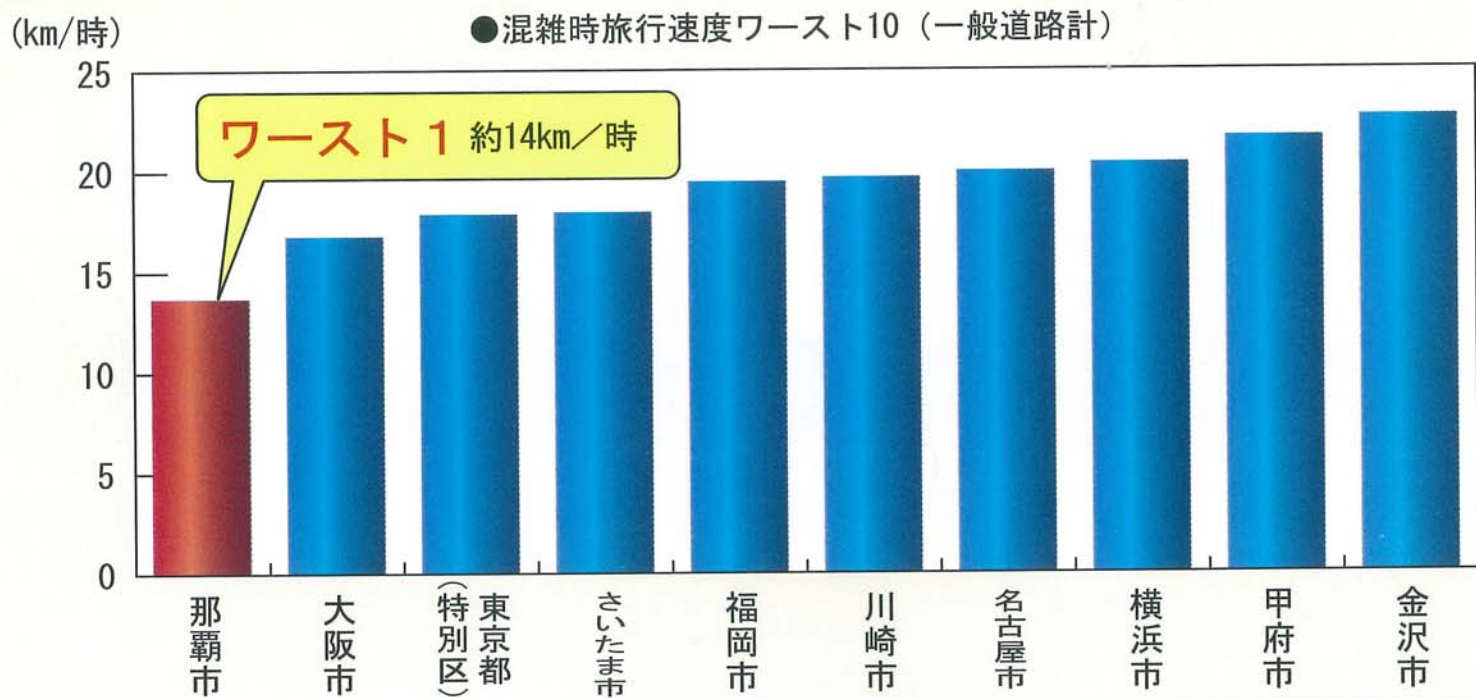
H18年

通勤目的の自動車利用の9割が一人乗り

自動車の乗合い状況(域内着)



- ・那覇市の混雑時旅行速度は、14km/h
と全国の県庁所在地の中で**ワースト1**



資料：道路交通センサス（H17）

※混雑時旅行速度とは、朝のラッシュ時間帯（7～9時）または夕方のラッシュ時間帯（17～19時）に計測された旅行速度

2. 那覇市の都市像と施策の方向

●第4次那覇市総合計画(H20年4月)

都市像

安心、安全で快適な亜熱帯庭園都市

政策

交通体系の整備

施策

誰もが移動しやすいまちをつくる

体系的な道路網をつくる

●第4次那覇市総合計画で示す「6つの都市像」のひとつである、「安心、安全で快適な亜熱帯庭園都市」を築くための施策として、「誰もが移動しやすいまちをつくる」「体系的な道路網をつくる」としている。

3. 誰もが移動しやすいまちをつくる

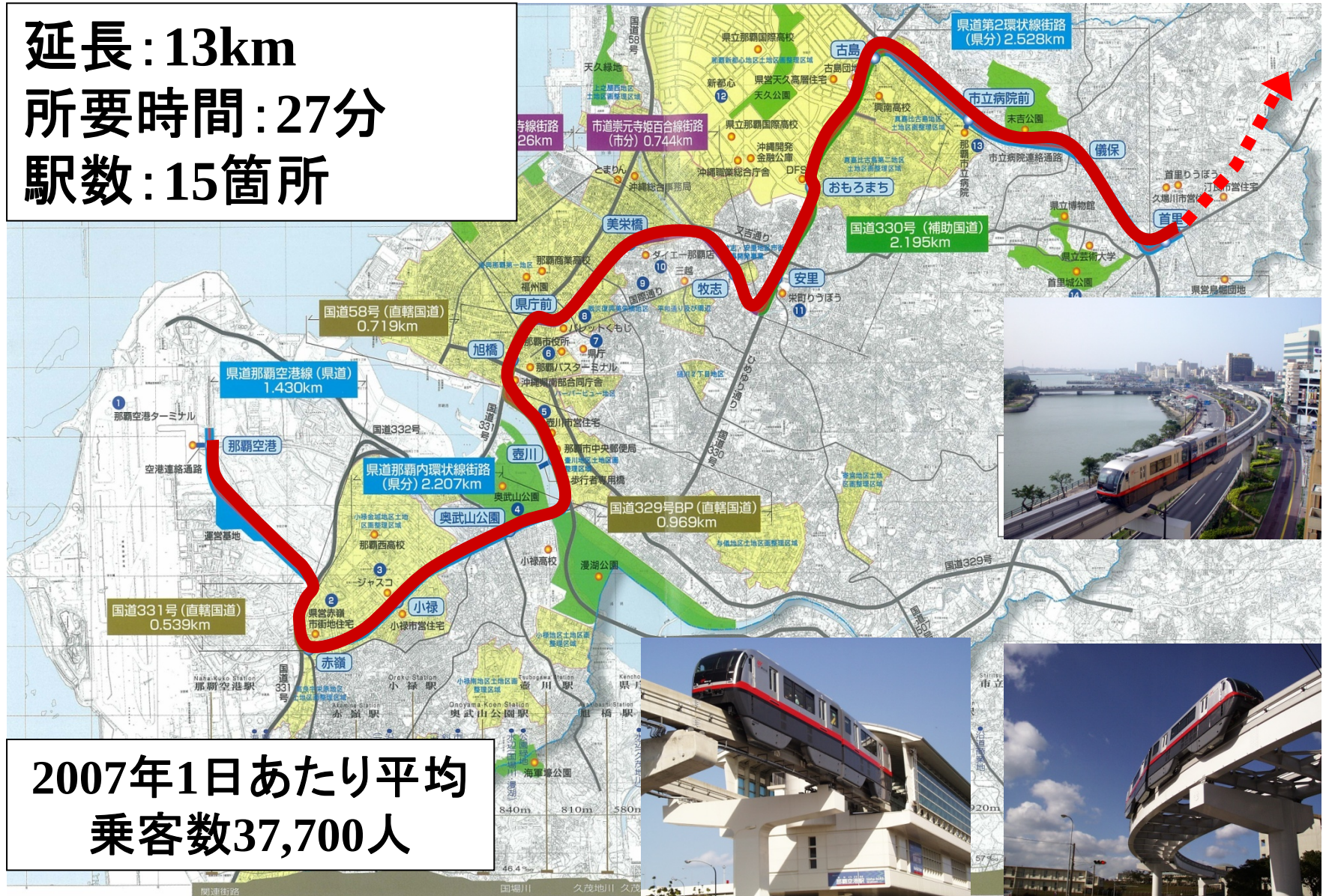
- ① ゆいレール
- ② コミュニティバス
- ③ トランジットモール
- ④ バスロケーションシステム
- ⑤ レンタサイクル
- ⑥ 自転車通行環境
- ⑦ カーフリーデー

①ゆいレール(H15年8月10日開業)

延長: 13km

所要時間: 27分

駅数: 15箇所



ゆいレール利用状況

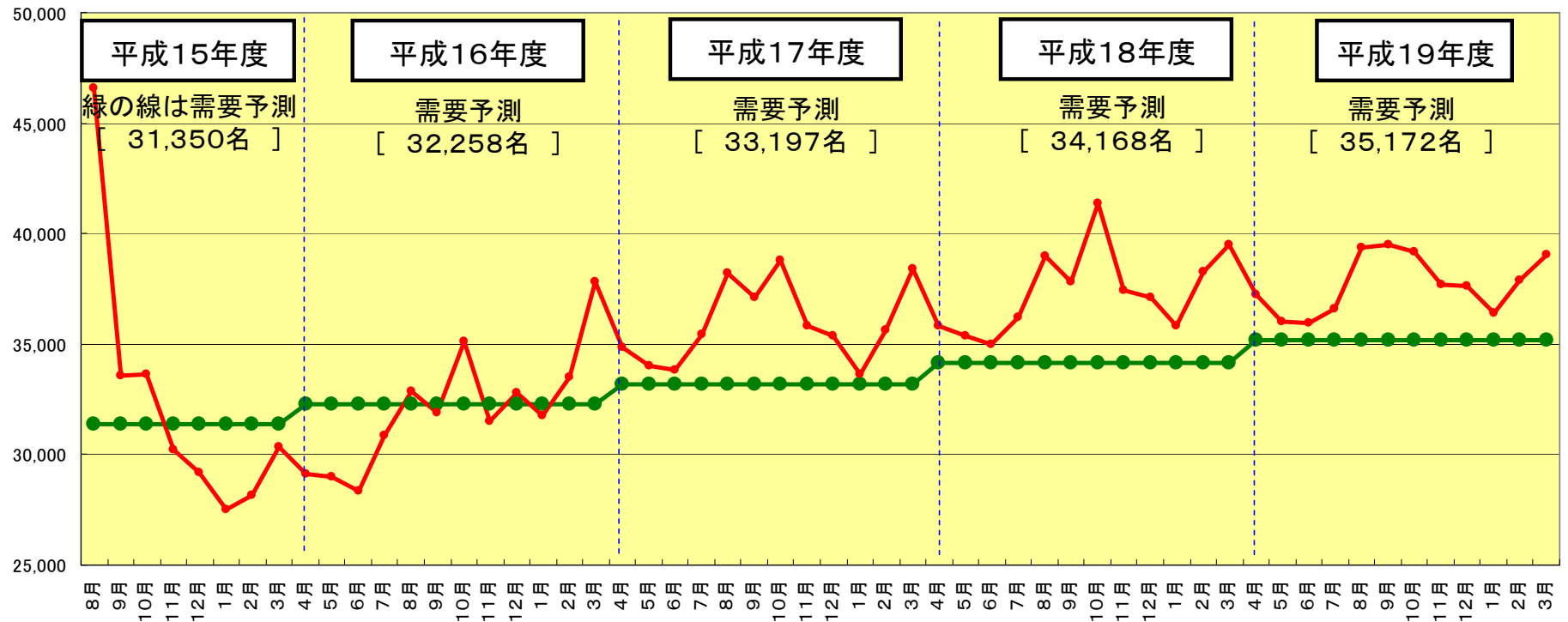
利用客数は堅調な伸びを示している

H15年度の平均約32,000人/日 → H19年度の平均約37,700人/日へ増加



沖縄都市モノレール株式会社 1日平均乗客数推移

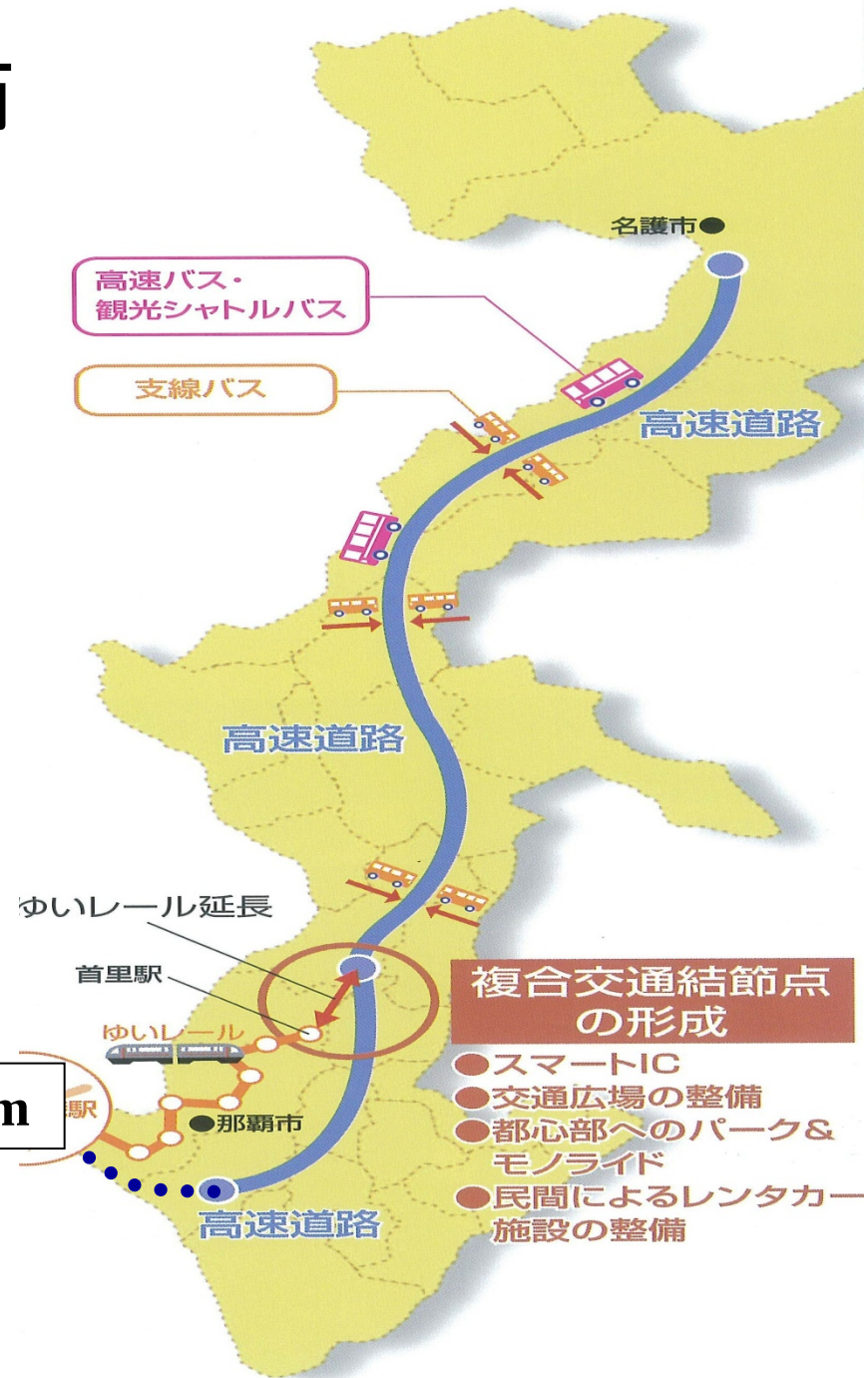
統計値



高速道路との結節

定時・定速のゆいレールを多くの県民に利用して頂くとともに、まちづくりの推進や交通渋滞緩和を図るために、高速道路までのゆいレール延長を目指しています。

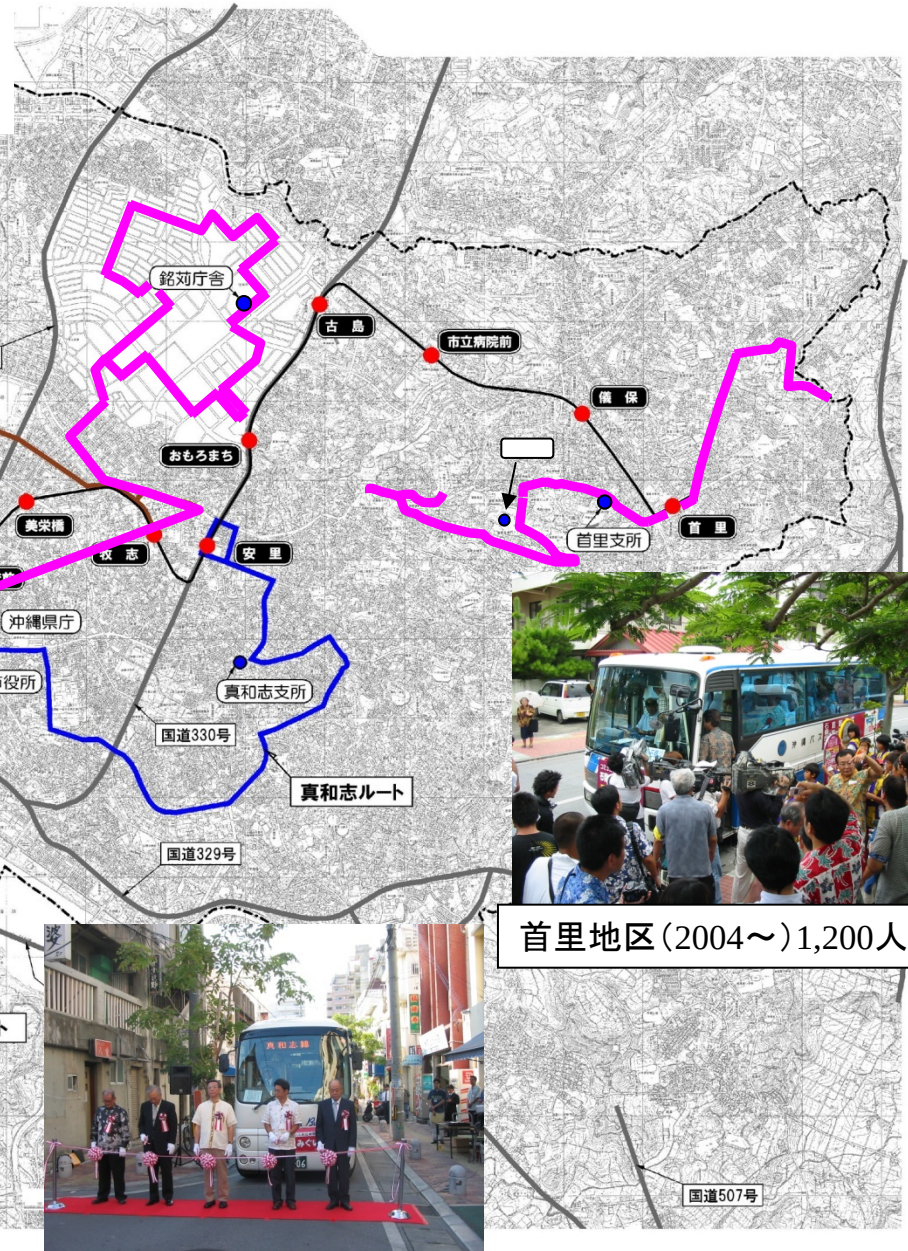
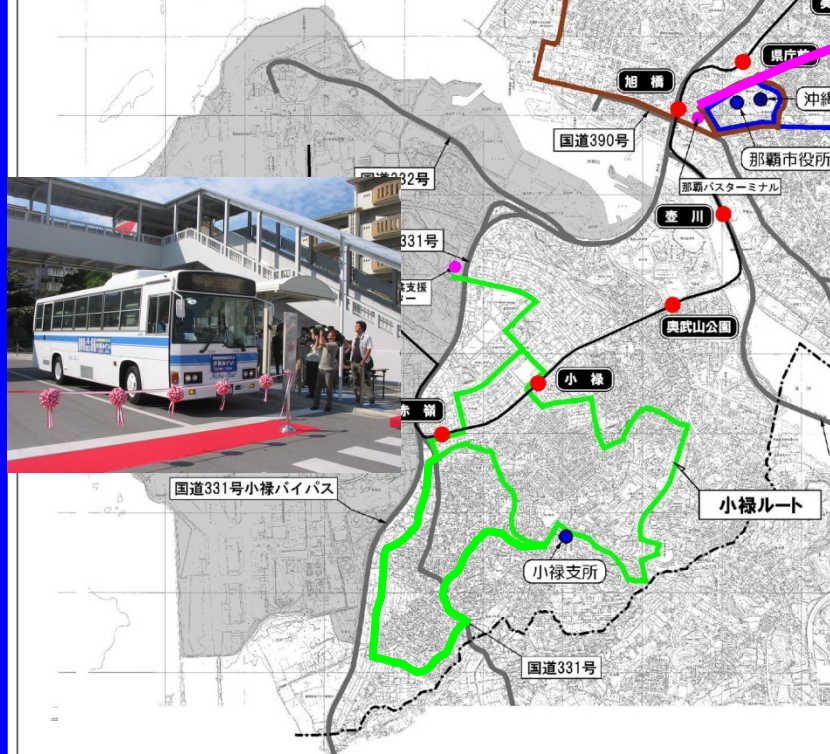
延長距離=4km



②コミュニティバス



新都心地区(2006～) 300人/日



首里地区(2004～) 1,200人/日

③国際通りトランジットモール

通常の日曜日

国際通り1日あたり
交通量18,000台

国際通り1日あたり
バス本数1,400本

1日あたり来街者数
20,700人(H18.12.10)



トランジットモール実施
1日あたり来街者数28,800人(H19.12.16)

普段の国際通りの様子



④バス・ロケーションシステム(那覇バス株式会社)H18年度～

主要な停留所(10箇所程度)にバスの接近状況を知らせる表示板付停留所を設置。
携帯等を利用しないユーザにも運行状況が把握でき、待ち時間のイライラ解消や、利便性向上を図る。
その他、パソコン、携帯電話からもバスの現在位置等の情報が得られる。



※主要停留所に設置(10箇所)

⑤レンタサイクル(NPO法人しまづくりネット)

美栄橋レンタサイクル(観光客主体の有料レンタル)

第1期 県庁前駅で社会実験開始(H17.12 ~ H18.2)

第2期 美栄橋駅で事業実施(H18.4 ~ 現在に至る)



新都心レンタサイクル

第1期 P&CR、モニター制で実験開始(H18.10 ~ H18.12)

この後2度のシステム変更を経る

第4期 すべてのサイクルポートから貸出(H19.5 ~)



⑥自転車通行環境モデル地区の整備

●実施主体 沖縄総合事務局 南部国道事務所
 沖縄県警察本部
 沖縄県土木建築部 南部土木事務所

那覇市
 『壺川・赤嶺地区』



(現 況)

歩行者と自転車が混在した歩道



【施行前】

自転車は車道通行が原則となっていますが、当該箇所においては、歩道上を歩行者と自転車が混在して通行しています。

(イメージ)

歩行者と自転車が分離された歩道



【施行後】

歩道を走る自転車が無くなるため、歩行者は歩道を安心・安全・快適に通行できます。

自転車が安全に走行できる空間が確保されるため、自転車事故が減少します。

⑦2007なはカーフリーデー

日程：2007年9月22日(土)、23日(日)

場所：国際通り沿いてんぶす那覇前広場



イベント-1

市長のカーフリー宣言



シンポジウム



カーフリー宣言

那覇市は、カーフリーデーの理念に賛同し、カーフリーデーを今後も充実発展させるとともに、公共交通の推進など、様々な都市交通政策を図り、カーフリーのまちづくり、クルマに頼りすぎない、クルマから開放されたまちづくりに取り組んでいくことをここに宣言いたします。

2007年9月22日 2007なはカーフリーデー実行委員会

実行委員長 那覇市長 翁長 雄志

イベント-2

パネル展示



低床ノンステップバス試乗



バスの乗り方アドバイス



電気自動車の試乗会



無料貸出し自転車



おもしろ自転車



公共交通の利便性向上

沖縄都市モノレール(株)

プリペイドカードの提供



(社)沖縄県バス協会

「バスの日」イベントとの連携



2008なはモビリティウィーク& カーフリーデー

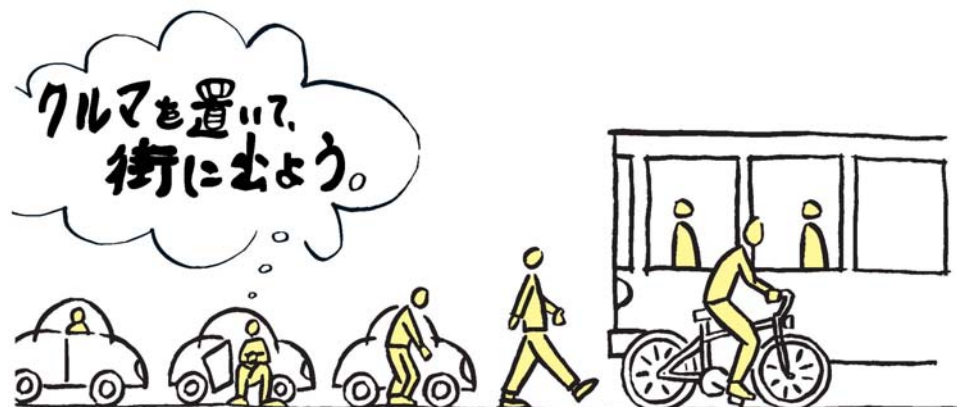


3つの拡大

日程:9月16日(火)~9/22(月)

場所:沖映通り、美栄橋駅交通広場を追加

内容:カーフリー宣言(一般市民等)の実施
自転車走行空間の創出



2008メニュー

8/20(水)

■市長定例記者会見(市長がカーフリー宣言を行う)

9/16(火)

■市長による2008なはモビリティウィーク&カーフリーデー開催の挨拶
(市長がモノレールで通勤、県庁前駅で下車、コンコース内にて)

■街頭キャンペーン

9/17(水)～9/19(金)

■主に行政職員による、カーフリー重点日(リレー形式)

※カーフリー宣言

9/16～9/22のモビリティウィーク期間中、できるだけクルマに頼り過ぎず、公共交通や自転車、徒歩などでの移動を心がけることを市民一人一人が宣言します。

宣言者の実績調査アンケートを行い、そのアンケート結果を元に、事務局で全体のCO2削減量及び経済上の効果等を算出。その後、算出結果を宣言者全員にメール等で情報提供し、カーフリー宣言の効果を実感してもらいます。

9/20(土)

2008なはモビリティウィーク & カーフリーデーイベント (場所: てんぶす那覇前広場)

- 電気自動車展示・試乗会
- おもしろ自転車試乗会
- 自転車でまち巡り
- パネル展



- バスの使い方アドバイスコーナー
- ゆいレールの紹介
- 地球温暖化対策協議会による「交通から地球温暖化を考えよう！」
- ツール・ド・沖縄の紹介

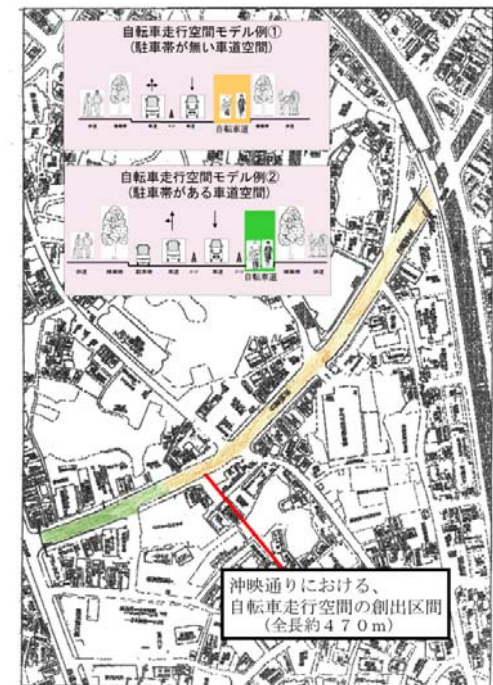
9/21(日)

2008なはモビリティウィーク& カーフリーデーイベント

(場所: てんぶす那覇前広場、沖映通り、美栄橋駅交通広場)

9/20(土)のイベントに加えて、

- 沖映通り自転車走行空間の創出
- 警察による自転車の安全な乗り方講習会
- なは街なかウォーク



※国際通りトランジットマイルは通常通り実施

9/22(月)

■市民、行政職員、カーフリー統一重点日

■沖縄EST創発セミナー

みんなで止めよう温暖化
クール・マイケス運動



沖縄 EST創発セミナー

～ クルマに頼り過ぎない、公共交通や自転車・徒歩など
まちのどこへでも快適に移動できるまちづくりにむけて ～

今年度から、京都議定書で定められた温室効果ガスの6%削減に向けた約束期間に入りました。京都議定書目標達成計画では、「環境的に持続可能な交通（EST）の普及展開」を掲げ、ESTモデル事業を実施するとともに、ESTに関する情報提供や広報活動を図ることとしています。

このセミナーでは、地球温暖化防止などに向けて、地方自治体や交通事業者、一般企業、市民団体の皆さまに、長期的な視野で環境改善を目指した交通対策を始めていただくことを期待し、2008年はモビリティウィーク&カーフリーデーと連携し、専門家などによるESTやモビリティウィーク&カーフリーデーの講演や参加者を交えた意見交換をおこないます。

日 時 : 平成20年9月22日(月) 13:30～16:55
会 場 : 那覇市ぶんかテンブス館4階「テンブスホール」
〒900-0013 沖縄県那覇市牧志3丁目2番10号
TEL : 098-868-7810
主 催 : 交通エコロジー・モビリティ財団、EST普及推進委員会、
内閣府沖縄総合事務局、那覇市


環境的に持続可能な交通
 Environmentally Sustainable Transport

【プログラム】

13:30	開会挨拶 報告「運輸部門の地球温暖化対策と環境的に持続可能な交通（EST）の現状について」 (内閣府沖縄総合事務局運輸部) 講演①「環境的に持続可能な交通（EST）とは何か？どうすれば実現できるのか？」 (名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻准教授 加藤 博和)
15:10	休 憩
15:25	講演②「事例紹介：国内外のモビリティウィーク&カーフリーデーの現状について」 (カーフリーデージャパン 谷田貝 豊) 講演③「事例紹介：那覇市における誰もが移動しやすいまちづくりに向けた取り組みについて」 (那覇市都市計画部)
16:10	意見交換 「クルマに頼り過ぎない、公共交通や自転車・徒歩などで まちのどこへでも快適に移動できるまちづくりにむけて」 (名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻准教授 加藤 博和 カーフリーデージャパン 谷田貝 豊 那覇市都市計画部 内閣府沖縄総合事務局運輸部企画室 司会：交通エコロジー・モビリティ財団)
16:50	閉会挨拶
16:55	閉会

【会場案内図】



■モノレール
牧志駅（那覇空港から16分）下車徒歩4分 または 美栄橋駅（那覇空港から14分）下車徒歩6分
■バス
那覇市内線「三越前」停留所前 または 那覇市外線「牧志」停留所徒歩3分

※参加費：無料
※申込方法：「環境的に持続可能な交通（EST）ポータルサイト」(<http://www.estfuku.jp/>)より
お申し込みください。（定員になり次第第順切）

問合せ先：環境的に持続可能な交通（EST）普及推進委員会事務局
 交通エコロジー・モビリティ財団（担当：市丸）
 TEL：03-3221-7636 E-mail：seminar@estfuku.jp

2008なはモビリティウィーク & カーフリーデーにおける ゆいレールの利便性向上

■ゆいレールが1駅区間100円（9/20、9/21）

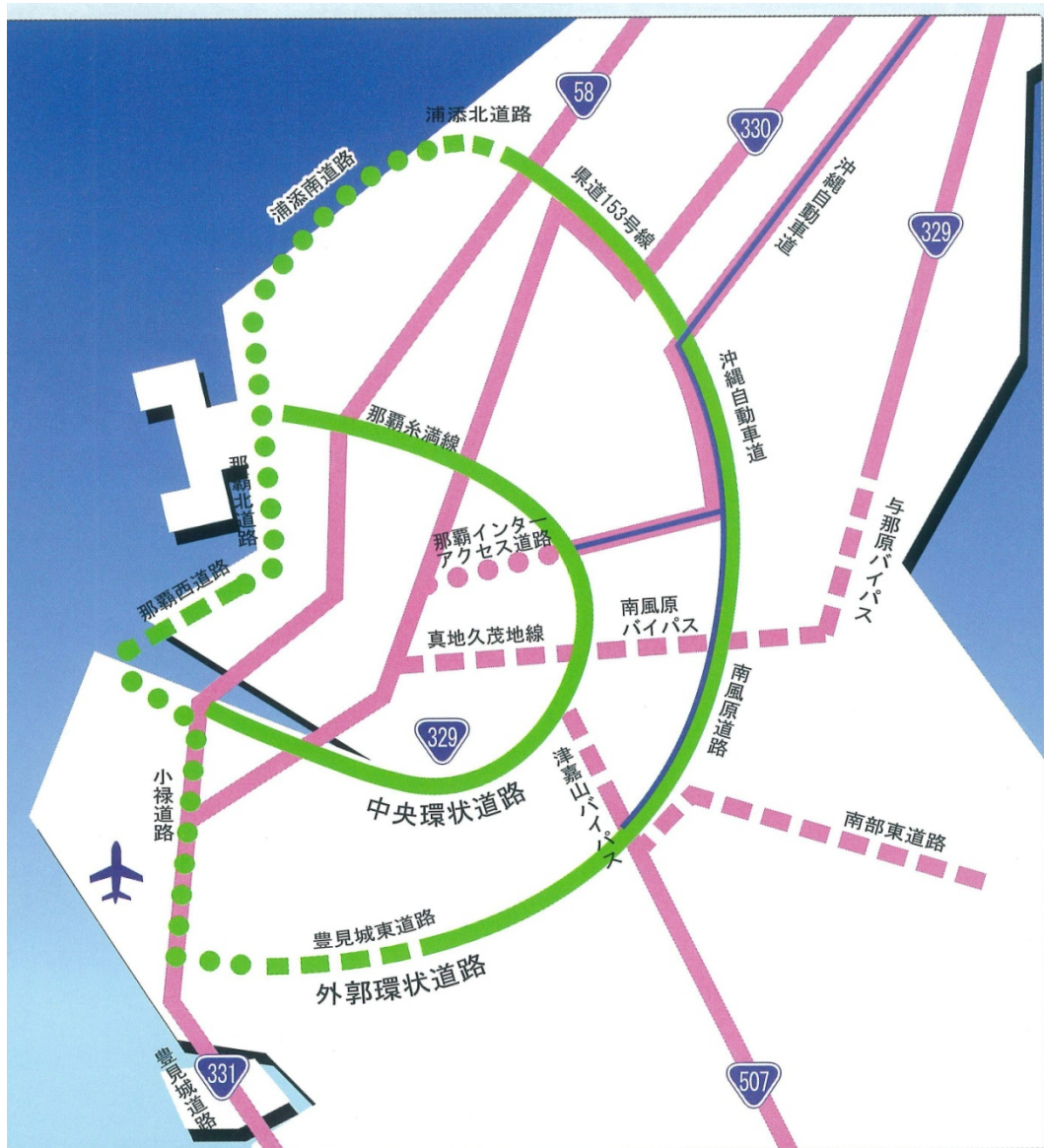
■ゆいレールの増発（9/22のみ）

（昼間の10分間隔が8分間隔）

沖縄都市モノレール株式会社



4. 体系的な道路網をつくる



2環状7放射道路の計画

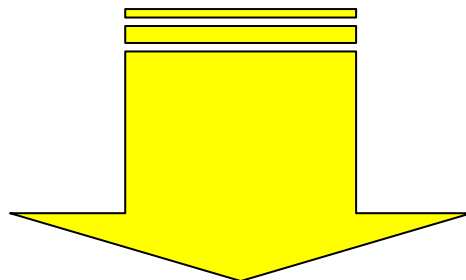
3つの分散
交通経路
交通手段
交通利用時間

出展：
那覇都市圏交通円滑化総合計画

那覇市総合計画(2008～2017)

都市像：安心、安全で快適な亜熱帯庭園都市

「誰もが移動しやすいまちをつくる」

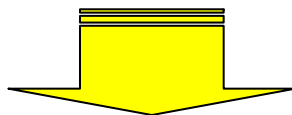


那覇市交通基本計画

5. 今後の取り組み

H20 沖縄本島中南部都市圏都市交通マスタープラン及び
総合交通戦略(仮称)策定予定(沖縄県)

沖縄県地域公共交通総合連携計画策定予定(沖縄県公共交
通活性化推進協議会)



H21 **那覇市交通基本計画策定(那覇市)**

○交通マスタープラン(概ね20年後を想定)

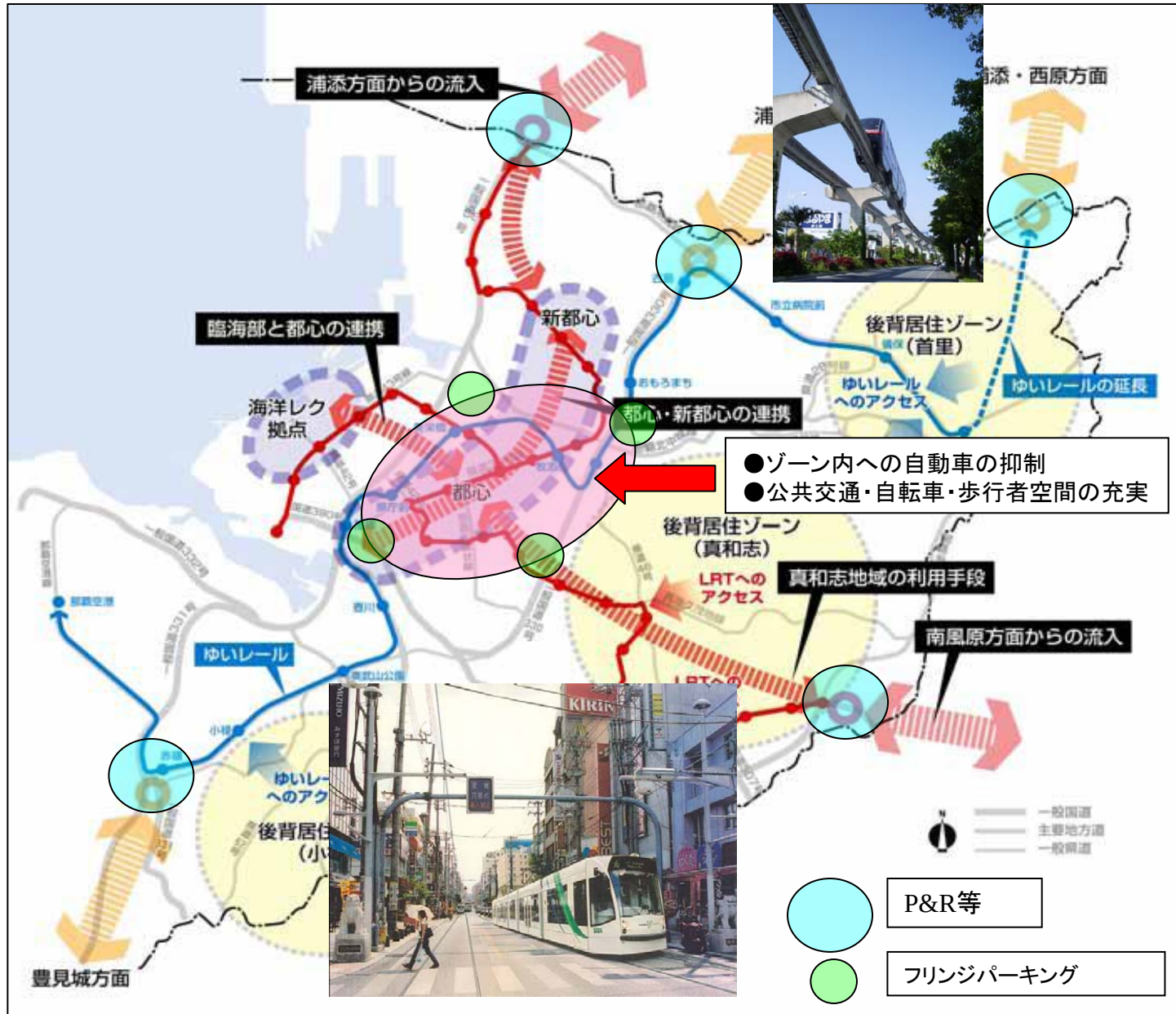
- ・那覇市の将来像
- ・総合的な交通計画 等

○総合交通戦略(5～10年の達成を想定)

- ・道路整備の選択と集中
- ・利用しやすい公共交通のしくみづくり
- ・コミュニティバスやLRT等の多様な移動手段の検討、研究
- ・自転車、歩行者空間創出の推進 等



「誰もが移動しやすいまち」をめざして



ご清聴ありがとうございました。

